

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2008-507622(P2008-507622A)  
 【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-010  
 【出願番号】特願2007-524839(P2007-524839)  
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 1 B 31/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 1 B 31/02 1 0 1 F

C 0 8 K 3/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月14日(2011.11.14)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 4】

幾つかの具体例においては、プロセスパラメータ、例えば予熱した支持体の温度、噴霧の速度、CNTs / プレポリマー / 有機液体の濃度等を調節することによって、ポリマー / CNTは表面に整列することができる。単一のショット(噴霧)の0.5重量%受け入れ時SWNTs / エポキシ / DMFを、予熱した支持体の上に噴霧した。図15(a)及び15(b)を参照すると、生成したSWNT / エポキシ複合体試料を光学顕微鏡法を用いて観察した時に、試料位置に対して焦点を変えることによって2つの異なる像が観察された。焦点を上下に移動させることによって、特定の像が現れ及び消失するのが見える。この観察から、多くのヤシの木様 - SWNTs / エポキシ柱状部が支持体表面に垂直に整列していた。この構造の形成の可能な機構を、図16(a) ~ 16(i)に概略で表す。従って、SWNT / エポキシは、本発明によって垂直に整列することができる。